



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月3日

上場会社名 株式会社エムケイシステム

上場取引所 東

コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括

(氏名) 吉田 昌基

TEL 06-7222-3394

四半期報告書提出予定日 2022年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	625	7.2	6		4		17	
2022年3月期第1四半期	583	10.5	10		9		19	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 17百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 22百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	3.14	
2022年3月期第1四半期	3.62	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,435	1,363	55.7
2022年3月期	2,231	1,424	63.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,357百万円 2022年3月期 1,417百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		8.00	8.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,418	14.3	37	25.9	42	343.9	22		4.17
通期	3,115	13.6	272	87.6	282	118.3	175	92.6	32.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	5,428,000 株	2022年3月期	5,428,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	506 株	2022年3月期	506 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	5,427,494 株	2022年3月期1Q	5,427,494 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を促進する中で経済活動が本格化する一方で、急激な円安や、ロシア・ウクライナ情勢に起因する資源価格の高騰、サプライチェーンの混乱など、内外経済に与える影響は依然として不透明な状況です。

国内の情報サービス業界及び当社グループの関連する人事労務領域においては、政府が推進する働き方改革や新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークへの急速な取り組み、業務効率化対応に伴うDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進などを背景に、企業の投資需要は引き続き増加しているものの、内外経済に対する影響への懸念から、新規の投資に対する先送りなど、投資に対する動きには慎重さが見られました。

このような状況の中、当社グループは、オンラインセミナーやリモート会議などを積極的に活用し顧客の業務効率化並びに付加価値創造を支援し、顧客満足度をより一層高めるべく努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は売上高625,028千円（前年同四半期比7.2%増）、売上総利益293,412千円（前年同四半期比6.7%増）、営業損失6,481千円（前年同四半期は10,004千円の営業損失）、経常損失4,231千円（前年同四半期は9,046千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失17,043千円（前年同四半期は19,624千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、連結ベースで△1.2%（前年同四半期比0.3ポイント増加）、当社単体では1.1%（前年同四半期比0.3ポイント増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (社労夢事業)

社労夢事業は、社会保険労務士事務所、労働保険事務組合及び一般法人における、社会保険、労働保険、給与計算等の手続きをサポートする業務支援ソフトウェアを提供しております。主力製品である社労夢（Shalom）シリーズを始め、マイナンバー管理システムの「マイナボックス」、WEB年末調整システム「eNEN」などのクラウドサービスで主に構成されます。

働き方改革やテレワーク推進のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっております。一方で、競合による新規参入が散見され、価格面も含め競争の激化が予想されます。

社労夢事業では、社労夢（Shalom）シリーズを始めとするクラウドサービスの月額課金積み上げが順調に推移したことに加え、毎年多くの引き合いにつながっているIT導入補助金の採択により、ハウスプランの契約件数を伸ばしました。また、日本最大級の管理部門向け展示会「第10回 HR EXPO人事労務・教育・採用」への出展を行い、新規ユーザーの獲得に努めました。

売上高の内訳としましては、クラウドサービス売上高が509,090千円（前年同四半期比8.4%増）となり、その内、ストック収益であるASPサービス売上高が483,339千円（前年同四半期比9.7%増）、システム構築サービス売上高が25,751千円（前年同四半期比10.9%減）となりました。システム商品販売売上高は20,790千円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

一方で、一部製品の償却が終了したことなどによりソフトウェア償却費が減少したことや、積極的な採用を控えたことで、全体的にコストが抑えられることとなりました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は533,463千円（前年同四半期比5.6%増）となり、売上総利益は277,124千円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は21,950千円（前年同四半期比12.8%増）となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は4.1%（前年同四半期比0.3ポイント増加）となりました。

#### (CuBe事業)

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を実現したクラウドサービス「GooooN」の提供を行っております。

フロントシステムの受託開発においては、顧客となる大企業や自治体などからの保守売上が順調に積み上がった一方、システム更新に対する企業の投資需要に応える新たな開発案件についても、例年と同じペースでの納品がありました。クラウドサービス「GooooN」においては、機能強化及び販売ルートの開拓に努めました。

コスト面においては、開発効率向上のための原価コスト削減に引き続き取り組んでおり、安定的な利益率を維持

することとなりました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は92,900千円（前年同四半期比8.4%増）、売上総利益は16,446千円（前年同四半期比8.2%減）、営業損失は31,727千円（前年同四半期は31,762千円の営業損失）となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額9,715千円を反映しております。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,238,914千円（前期比17.2%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金739,158千円、売掛金390,355千円となっております。

また、固定資産の残高は1,196,849千円（前期比1.9%増）となりました。主な内訳は、ソフトウェア453,408千円、のれん165,163千円、差入保証金162,861千円となっております。

以上の結果、総資産は2,435,763千円（前期比9.1%増）となりました。

### （負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、817,054千円（前期比8.7%増）となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金240,597千円、未払金164,731千円、短期借入金126,000千円及び前受金101,769千円となっております。

また、固定負債の残高は255,140千円（前期比359.0%増）となりました。主な内訳は、長期借入金253,928千円となっております。

以上の結果、負債合計は1,072,194千円（前期比32.8%増）となりました。

### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における株主資本は、1,357,028千円（前期比4.3%減）となりました。主な内訳は、資本金219,110千円及び資本剰余金202,122千円、利益剰余金936,295千円となっております。

以上の結果、純資産は1,363,569千円（前期比4.3%減）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月9日に公表した「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載しております連結業績予想から変更はありません。

なお、当連結業績予想は現時点で入手可能な情報等を踏まえたものであり不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の経過により影響が変化した場合には、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

今後の業績推移等によって第2四半期及び通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	468,147	739,158
売掛金	475,057	390,355
商品	35,267	34,582
仕掛品	7,096	19,210
貯蔵品	155	93
前払費用	60,730	44,940
未収還付法人税等	5,300	5,300
その他	5,229	5,273
流動資産合計	1,056,984	1,238,914
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	124,164	121,276
車両運搬具（純額）	866	648
工具、器具及び備品（純額）	118,476	107,157
有形固定資産合計	243,507	229,082
無形固定資産		
ソフトウェア	438,283	453,408
ソフトウェア仮勘定	124,583	168,468
商標権	1,086	1,028
電話加入権	1,218	1,218
のれん	174,878	165,163
無形固定資産合計	740,050	789,287
投資その他の資産		
出資金	60	60
差入保証金	162,956	162,861
繰延税金資産	28,285	15,459
その他	98	98
投資その他の資産合計	191,400	178,479
固定資産合計	1,174,958	1,196,849
資産合計	2,231,942	2,435,763

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	61,632	30,135
短期借入金	126,000	126,000
1年内返済予定の長期借入金	197,259	240,597
未払金	156,920	164,731
未払費用	16,222	81,654
未払法人税等	8,619	3,432
未払消費税等	17,139	20,947
前受金	86,840	101,769
役員退職慰労引当金	5,000	—
賞与引当金	67,789	34,695
その他	8,283	13,091
流動負債合計	751,705	817,054
固定負債		
長期借入金	55,592	253,928
退職給付に係る負債	—	1,212
固定負債合計	55,592	255,140
負債合計	807,297	1,072,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	202,122	202,122
利益剰余金	996,759	936,295
自己株式	△499	△499
株主資本合計	1,417,493	1,357,028
非支配株主持分	7,152	6,540
純資産合計	1,424,645	1,363,569
負債純資産合計	2,231,942	2,435,763

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	583,017	625,028
売上原価	308,037	331,615
売上総利益	274,980	293,412
販売費及び一般管理費	284,984	299,893
営業損失(△)	△10,004	△6,481
営業外収益		
受取配当金	1	1
受取賃貸料	10,701	10,701
仕入割引	—	5
業務受託料	—	1,500
その他	308	—
営業外収益合計	11,010	12,207
営業外費用		
支払利息	545	450
賃貸収入原価	9,507	9,507
営業外費用合計	10,052	9,957
経常損失(△)	△9,046	△4,231
税金等調整前四半期純損失(△)	△9,046	△4,231
法人税、住民税及び事業税	618	597
法人税等調整額	12,905	12,826
法人税等合計	13,524	13,423
四半期純損失(△)	△22,570	△17,655
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,945	△611
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,624	△17,043

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△22,570	△17,655
四半期包括利益	△22,570	△17,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,624	△17,043
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,945	△611

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	498,192	84,824	583,017	—	583,017
セグメント間の内部売上高又は 振替高	7,083	900	7,983	△7,983	—
計	505,275	85,724	591,000	△7,983	583,017
セグメント利益又は損失(△)	19,452	△31,762	△12,310	2,305	△10,004

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	532,893	92,134	625,028	—	625,028
セグメント間の内部売上高又は 振替高	570	765	1,335	△1,335	—
計	533,463	92,900	626,364	△1,335	625,028
セグメント利益又は損失(△)	21,950	△31,727	△9,777	3,295	△6,481

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。